

わたしたちの礼拝と新型コロナウイルス問題への対応について

日本基督教団 京北教会 役員会

主任担任教師 今井牧夫

「わたしを信じる者が、だれも暗闇の中にとどまることがないように、わたしは光として世に来了。」(ヨハネによる福音書 12:46) イースター(復活日)を迎え、新しい命に生きる喜びが神様から示されました。お一人おひとりに天来の恵みをお祈りいたします。

2020年4月5日(日)京北教会役員会で、新型コロナウイルス問題への対応を話し合い、当面の措置として以下の対応をとることを決定しました。皆様にお伝えいたします。

- 1 日曜日の礼拝堂での礼拝出席を、教会員や求道者、新来会者など、どなたに対しても呼びかけません。平日の集会も同様です。人が集まると感染の危険があるからです。
- 2 各人に対して、それぞれの生活の場での個人礼拝を呼びかけます。教会の礼拝に出席できなくても、個人や家族などの場で聖書を読み、みことばについて黙想し、祈り、悔い改め、感謝を献げ、主イエス・キリストの仲立ちによって天の神様を礼拝してください。
- 3 以上の措置と同時に、聖日礼拝はふだんと形式を変更し、以下の感染対策をしたうえで毎週日曜日 10:30 から 40 分程度で牧師が一人で行います。この礼拝への出席は、どなたに対しても呼びかけませんが、共に感染対策をしてくださる方の参加は拒みません。
 - (1) 出席者に感染対策への協力を依頼します。マスクと慎重な手洗いをしてください。
 - (2) 牧師が司会など全役割を兼ねるので、司会・奏楽・受付・献金当番はありません。
 - (3) 聖書・讃美歌はすべてプリント配布します。備え付け品は使いません。
 - (4) 礼拝の祈り・聖書朗読・説教は、事前録音し再生することで実施します。
 - (5) 前奏・後奏や讃美歌は、録音の演奏や合唱を再生して実施します。
 - (6) 出席者が言葉や歌を発することを、極力少なくすることにご協力ください。
(録音再生を聴くのみか、つぶやくように言葉にすることにご協力ください)
 - (7) 献金は、礼拝後に講壇前の箱に自由に入れていただきます。
 - (8) 礼拝後に、茶菓の席や懇談など交流の時間は持ちません。

4 今後のことは、情勢に応じて教会としての対応を役員会で判断し、必要に応じて皆様にご連絡します。皆様の無事を、牧師と役員会は心よりお祈りします。そして、私たちを含めて、この問題に苦しみ労するすべての人に、神様のお支えを共に祈りましょう！